

事務事業名	感染症対策等の学校教育活動継続支援事業(小中学校)		所属部	教育委員会	所属課	学校教育課
総合計画体系	政策名	〈IV〉ふるさとを学び育つまち〈教育・文化〉		所属G	義務教育グループ	課長名 板持 徳生
	施策名	〈26〉学校教育の充実		担当者名	堀江 亮次	電話番号:0854-40-1072 (内線):2281
	目的・対象	児童・生徒	意図	基礎基本(知・徳・体)の発達を促し、生き抜く力を身につける。		
	基本事業	〈076〉すべての子どもにわかりやすい授業づくりの推進		予算科目	0:150:0:2 -1:0:0:3	大事業名 小(中)学校教育振興事業 中事業名 感染症対策等の学校 教育活動継続支援事業
目的・対象	児童・生徒	意図	学習意欲が高まる。			

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
児童生徒、教職員	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返( 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( 年度 ~ 年度 )	新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、消耗品・備品購入等学校が必要と思うものを整備する。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
感染拡大防止に係る消毒液、パーテーション、空気清浄機等の整備	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、国が希望する自治体へ本事業により感染対策を講じるための対応を行った。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 小中学校実施校数	校			22	
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)	② コストの推移	単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
需用費 6,844千円	財源内訳	国庫支出金	千円			9,863
役務費 138千円		県支出金	千円			
備品購入費 12,744千円		地方債	千円			
計 19,726千円		その他	千円			9,863
		一般財源	千円			0
	事業費計	千円	0	0	19,726	0

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	各学校で、感染症拡大防止を図るための対応が図れ、学校閉鎖・学級閉鎖の実施回数が減った。
② 事業実施するうえでの課題	令和5年度以降も引き続き感染症拡大防止対策を行う必要がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	感染症拡大防止については、市で予算化を行い引き続き対応を行う。 令和5年度において、国の別事業を活用し、クラスター等発生した際の消毒対応に係る予算化、空気感染防止に係る空気清浄機等の追加整備を行う。